

さつきやま魂

崎山中学校だより
2月7日 第17号
文責 校長 山下



1月19日、ヘトマトが開催されました。ご存じのとおり、ヘトマトは下崎山地区に古くから伝わる小正月の民俗行事で、国の重要無形民俗文化財に指定されています。「豊作」「大漁」「子孫繁栄」をまとめて祈願する行事です。平成19年度から1月の第3日曜日に実施されるようになりました。

子どもたちは、男女それぞれの立場で元気に参加することができました。男子は、午前中に白浜神社で準備を手伝い、午後から奉納相撲、そしてヘトマトへ参加しました。女子は、午前中に親子料理教室で豚汁をつくり、午後から白浜神社で、崎山小6年生女子と共に地域の方に豚汁を振る舞いました。ヘトマト参加に向けては、総合的な学習の時間の「地域に貢献しよう」の単元学習で、事前にいろいろなことを学習しました。1月14日には、佐々木先生からヘトマトの歴史について学び、その後、当日もお世話になった山内清一さんに来校していただき、奉納相撲の歴史と体験授業を行いました。

さらには、16日の水戸先生の道徳授業において、伝統を継承することの意味について考えました。

このように、事前学習から当日の地域行事への参加を通して、地域貢献への思いを高め、継承していくことの大切さを学ぶことができました。また、地域の方に、子どもたちの元気な姿を見せることができたこともよかったです。実行委員長の下崎山町総代中尾正則様、お世話役の山内清一様をはじめ、多くの皆様にお世話になりました。ありがとうございました。



第9回百人一首大会

1月26日、小倉百人一首かるた大会が崎山地区公民館で実施されました。小学校4年生から中学校2年生まで参加し、4人1班をつくり、札を取り合いました。子どもたちは、和気あいあいとした雰囲気の中でも、勝負になると真剣モードになりました。最後まで一生懸命取り組んでいました。見事、2年生の野口心太郎君が優勝し、2位は入江袖月さんでした。



会場には、冬休みを利用して作成した子どもたちの短歌も掲示されました。中学校は、「ふるさと」をテーマに、全生徒が一人一首つくりました。入賞した作品は次のとおりです。

最優秀賞

「崎山のシンボル箕岳を見つめて頑張れ自分とエールを送る」 (清水葵芳作)

優秀賞

「潮風にチャンココの音と花火の香久しい再会笑みがこぼれる」 (佐々野遥華作)
「朝早く集まり着火鬼火焚き幻想的な火と燃える音」 (野口心太郎作)
「初日の出白浜の海に見えるのは真っ赤に燃えるさつきやま魂」 (藤尾依千乃作)

最後に、出口志智雄先生が郷土の詩人田口照子先生の歌を紹介され、昔の崎山の情景をわかりやすく説明してくださいました。薫づとを下げて帰らん親待ちぬ 振舞の日の村の子供ら 貴重なお話ありがとうございました。



崎中戦隊さつきやまん出陣!

1月16日、新生徒会役員が初めて企画した生徒朝会が実施されました。新生徒会役員のチーム名は、「崎中戦隊さつきやまん」です。レッド隊長(境脇生徒会長)を中心に、これからの崎山中学校、そして崎山区を大いに盛り上げます。頑張れ! 崎中戦隊さつきやまん



【新型ウィルスの思い出】

世間では、毎日のように新型「コロナウィルス」のニュースが報道されている。このニュースを聞くと、平成21年度に大流行した新型インフルエンザを思い出す。当時、世界的に流行し、日本全国でも流行していた。島外の学校では少しずつ流行し始めていたが、五島市内の児童生徒は、誰も感染していなかった。9月中旬、崎中バレー部は島外遠征し、森山の体育館で練習試合を行った。その後私を含め、8人が同じ車に乗る1時間ほどかけて長崎へ移動し、フェリーで五島に帰った。2日後から8人中5人の生徒が新型インフルエンザに罹患した。あつという間に他の生徒にも広まり休校措置がとられた。その影響で、ソフトテニス部が新人大会を出場辞退した。私の状況判断の甘さから多大な人に迷惑をかけてしまった。特に当時の子どもたちには申し訳ない気持ちでいっぱいである。反省を生かさなければならぬ。